

ヴィーナス通信

第 001 号 2022 秋季刊 2022. 10. 15 発行



第 4 回日本在宅医療連合学会大会 (in神戸)

令和 4 年 7 月 23 日 (土)、7 月 24 日 (日) 神戸国際会議場にて開催された『日本在宅医療連合学会』の第 4 回大会に、当社の片見明美さん、知久淳子さん、栃村久美さんが参加しました。参加した 3 人は、全国から在宅医療の専門家が集まる中、栃木県における地域の緩和ケアへの実践から得られた視座や経験について披露し、多くの共感を得ることができました。また片見さんは運営側の立場として、教育公演の座長も務め大会における重要な役割も果たしました。片見さん「座長は大変でした。とに

かくみんな時間通りに終わらないんです。でも運営側は時間通りに早く進みたい。その板挟みで、本当に疲れました。」と振り返りました。唯一の介護士として参加した知久さんは「以前宇都宮の在宅ホスピス協会の大会に参加しましたが、今回はその 10 倍くらいの規模で、会場の広さや人の多さにびっくりしました。発表は練習も準備もして行けたので、緊張しないで済んだのですが、前日のレセプションでいきなり参加者の前で発表の機会があった、訪問介護はわたし一人。そちらのほうめちゃくちゃ緊張しました。」と話していました。栃村さんは、在宅医療における ACP、緩和、看取りに関するデジタルポスターディスカッションにて「医療用麻薬を必要とする神経障害性疼痛を伴う I 型糖尿病の症例」を発表しました。(総務)

各事業所のイメージカラー決定！

新施設のオープンを控え、各部署のイメージカラーを選定しました。

若年型ケアホーム みずき	若草色
住宅型有料老人ホーム はな	ピーチブロッサム
訪問看護 ヴィーナス	藤色
在宅ケア グランツ こむぎ	向日葵色



会場となった神戸国際会議場

ニュース

安全運転者表彰



今期、もっとも安全運転をした**知久淳子**さんに、大川取締役から賞状と景品の授与が行われました。（安全運転管理者）

アルコールチェックが義務化

法改正により、10月から社用車を使用する際のアルコールチェックが義務化されました。**アルコールチェッカー**を使用し、

社用車の ①使用前、②使用後の安全を確認、記録をお願いします。詳細、問い合わせは安全運転管理者（大川取締役）へ。（総務部）

10月の月間目標 「正しく楽しく進もう月間」

10月は半期の切り替え時期ということもあり、会社の決め事や法律などが変わる時でもあります。世の中の仕組みが変わると、各人がそれに適応しなければなりません。ややもすれば心が辛くなったり「大変だなー」という想いが強くなる時期でもあります。そんなときは、「正しいのはどっちだろう」ということを常に考えながら、**変化を「楽しむ」**ことがたいせつ。みんなで楽しく前に進もうぜ！！（企画部）

「はな」「みずき」棟上げ、ロゴ決まる

栃木市大宮町に建設中の「はな」「みずき」。土台の床材が全面張り終わり、9月28日には、棟上げが行われました。また、投票の結果ロゴマークが決定しました。皆様ご協力ありがとうございました。（総務）



10月生まれの社員さん

大川はるみさん
稲葉典子さん
栃村久美さん



11月生まれの社員さん

青山旬子さん



社長の一言

～ 日々好日（にちにちこうじつ） ～
今日是最良の一日、今は無二の好機

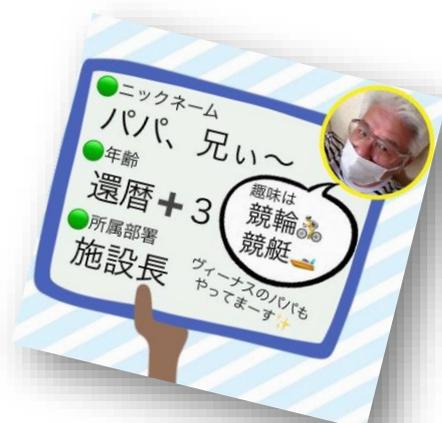
今日はまたとめぐって来ない
昨日は過ぎ去った今日であり、明日は近づく今日である。
今日の外に人生はない
人の一生は今日の連続である
今日一日 これは 希望にみちた良き日である
今日をとりがすと一生をとりがす人になる

はるみ♡

今後の予定

- 10月5日 新施設「はな」「みずき」上棟式
- 10月23日 日本在宅医療連合会第4回地域フォーラム（京都）※稲葉さんが発表します。
- 10月27日 CPPA 実践発表会

寄稿コーナー



介護とわたし

大川孔司

その日は電話の音で目が覚めた。わたしが責任者として勤める施設からで「Sさんの呼吸が止まっている」という連絡。いつかこの日が来るのは分かってはいたが、ざわついた気持ちを抑え、施設へ向かった。施設に到着、すでに訪問看護師が慌ただしくSさんの対応をしていた。間もなく主治医が到着してSさんの死亡を確認「〇時、〇分ご臨終です。」先生の声。私は全身の力が抜けていく感じがした。

Sさんは3年ほど前、脳出血で倒れ病院に運ばれたが、全身に麻痺が残り嚥下機能も低下して胃瘻を造設。入院前に入所されていた施設では、胃瘻がある方の受け入れは厳しいと言われ当施設に入所された方でした。キーパーソンである長男さんは胃瘻を造る際、病院から十分な説明もなく、考える時間も限られた中、究極の選択を迫られたと長男さん。入所当初は麻痺のせいで言葉も上手くでないSさん。「あ〜、あ〜、あ〜、」と言うばかり。数ヶ月が経ち、こちらの問いかけに返事をしてくれるようになり、喜怒哀楽を表すこともできるようになっていた。そんな時、長男さんが面会にみえて「こんな状態で生きている意味があるんですかね？」と。あまりにも唐突な質問に戸惑いながらも「意味はあります！」と言うと、本当に父が望んだことなのか今でも悩んでいると言われ、私は返す言葉がみつからなかった。

あれから3年が経ち、もう話すことのないSさんに、「今まで幸せでしたか？」「今までありがとう」と話しかけると、何もしゃべってくれないSさんがにっこり微笑んでくれたように見えた。Sさんを施設から送り出す際、長男さんが泣きながら「皆さんに支えられ父は幸せでした」とおしゃって下さった。私は「意味はあります！」と言い切った時のことがずっと胸に引っ掛かっている、長男さんの言葉を聞いた瞬間、胸のつかえが取れたような気がした。この仕事（介護）やってて良かった、続けていける！と感じる自分がいた。

株式会社ヴィーナス

企業理念

斬新的なアイデアと情熱を持って、介護医療福祉の現場に革命を起こし、新たな伝統を作ります。

ミッション

あらゆるニーズに対して、一体的に対応できるプロ集団 チーム・ヴィーナス を確立し、プロフェッショナルなサービスを提供します。

ビジョン

チーム・ヴィーナスが介護医療福祉の現場をイノベーションし、新しい風と感動を取り込み、輝ける人・輝きのある職域・輝く地域を構築します。

行動指針

- 1つ、私たちはお客様と家族の生き方を大切にします。
- 1つ、私たちは地域の皆さんの活力となる取り組みをします。
- 1つ、私たちは自分の技術を磨くために、たゆまない努力をします。
- 1つ、私たちは清く・正しく・美しくをモットーとし自分自身の行動を日々研鑽します。



株式会社ヴィーナス

〒328-0015

栃木県栃木市万町 6-11 栃木グランドホテル 3 階八汐の間

TEL 0282-25-7117

FAX 0282-25-7116